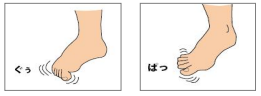
ID		患者氏名	様

肝切除術（木曜）を受けられる方へ【患者用クリニカルパス（入院スケジュール）】

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。 ※何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください 。

年月日	年　月　日	月　日		月　日	月　日　～　月　日	月　日　～　月　日	月　日　～　月　日
経過	入院	手術当日		手術1日後	手術2～4日後	手術5～7日後	手術8日後～退院日（手術13日後）
		術前	術後				
達成目標	・感冒症状がなく、術前検査が終了している ・手術の必要性が理解できる	・発熱なく（37度以下）手術を受けることができる	・出血がない ・痛みによる苦痛が少ない ・安静が守れている	・出血がない ・痛みが調整できる ・安静が守れている	・出血がない ・痛みが調整できる ・体を動かすことができる ・食事摂取ができる ・傷の腫れや赤みがない	・出血がない ・発熱（38度）や検査値に異常がない ・痛みが調整でき病棟内歩行ができる ・食事摂取ができる ・傷の腫れや赤みがない	・痛みが調整できている ・発熱（38度）や検査値に異常がない ・食事摂取ができる ・傷の腫れや赤みがない
検査治療処置	・検査や採血  ・点滴留置カテーテル挿入 →	・血栓予防の弾性ストッキングをはく ・術衣を着る ・浣腸	・集学治療病棟で管理 ・手術室で胃チューブ挿入（鼻から胃に管を入れる） ・ドレーン挿入（お腹に管を入れる） ・酸素マスク →	・状態安定後、一般病棟へ移動 ・採血とレントゲン（胸・腹）検査 抜去 	・傷の確認、ガーゼ交換 →	・採血とレントゲン、腹部CT  ・点滴留置カテーテル抜去 ・ドレーン抜去（お腹の管） 状態に応じて中止	・採血 
内服薬注射	・下剤液（15時頃） ・下剤錠剤（寝る前）		 ・点滴 →		・皮下注射（血栓予防） → 中止 ・点滴 → 中止		
活動安静度	・自由		・ベッド上安静	・ベッドの上半身を徐々にあげて座ることができます（90°まで） 	・許可あれば病棟内歩行可		
食事	・昼食以降絶食	・水分朝6時まで	・食べたり飲んだりできません 	・朝6時から飲水開始	・手術後2日目より食事再開		
清潔	・お臍のそうじ ・シャワー ・洗髪			・体を拭きます →		お腹の管が抜けたら、シャワーできます 	
排泄	・制限なし		・手術室で尿管挿入 →		尿管を抜く ・トイレまで歩行		
指導説明書類	・医師より手術の説明 ・入院時オリエンテーション、術前・術後の準備等 ・ネームバンド装着  ・病状説明及び手術・麻酔・輸血説明・同意書 ・手術前オリエンテーション ・集学入室時の必要物品説明・確認 ・病衣使用許可　特別室入室許可 ・肺血栓塞栓症予防についての説明・同意書		・医師の術後説明 	・ベッド上でもしっかり足を動かしましょう  【指導】 ・栄養指導 ・服薬指導 ・退院後の生活について指導 【連絡先】 徳島大学病院：088-631-3111 代表番号になっていますので、退院後は下記にお知らせください **外科外来：088-633-7136**	・できる限り、歩行して血液の流れをよくしましょう 	**【退院基準】** ・食事を半分以上食べられる ・傷の腫れや赤みがない ・発熱（38度以上）がない ・嘔気や腹部膨満感など消化器症状がない  **【退院後の治療計画】** ・内服の継続 ・食事療養の継続 ・病理診断によって今後の方針を決定します。外来受診時に説明します **【退院後の生活について】** ・肝臓に効率よく血液を送るため、食後30分～1時間、できるだけ横になりましょう ・入浴は食後2時間以降とし、疲労の強い時は控えましょう。ぬるめのお湯で15分～20分程度にしてください ・過度の運動は避けましょう ・便秘の予防をしましょう。便秘により腸内に便が停滞する時間が長くなると、腸の中でアンモニアという有害物質が増加し、意識障害を引き起こす恐れがあります ・規則正しく、バランスの取れた食事をするよう心がけましょう。手術後の過剰なエネルギー摂取は脂肪肝につながるため、急激に体重が増えないように気をつけましょう
リハビリ・その他		・御家族を集学治療病棟に案内					